

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

●向日市役所(〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20)

●編集 秘書広報課

●電話 075(931)1111

図書館では、開館15周年記念特別展「つらつら椿」-渡邊武コレクション-を1月29日(土)まで開催しています。

特別展では、図書館所蔵の椿に関する作品約80点を展示しています。入場は無料です。

また、記念講演会やつばきの写生会を行いますので、ご参加ください。

つらつら椿 特別展



▲浅葱地椿文着尺
渡邊武氏が次女和枝のために、稲垣稔次郎に依頼して作った着尺。この椿の図柄は、渡邊家の椿のスケッチ二冊がもとになっている。

▼棟方志功椿絵書簡(昭和50年2月7日) 版画家棟方志功が、体調をくずして渡邊武氏宛に漢方薬の処方依頼した手紙のあとに、椿絵を描いた書簡である。



今月の29日まで開催している特別展「つらつら椿」は、図書館開館15周年を記念して、向日市在住の薬学博士渡邊武氏から寄贈いただいた椿に関するコレクションの一部約80点を公開しています。約50年をかけて収集されたコレクションには、椿を描いた色紙、短冊、軸物、茶碗、壺、着物や椿材で作られた民芸品、茶道具、玩具類などがあります。

渡邊氏は、平成5年に中国仲景国医大学と陝西中医学院から名誉教授の称号を贈られ、薬学博士として研究のかたわら、日本にある椿の原生地、巨椿、銘椿を訪ねられています。渡邊氏が椿を通じて知り合った各界著名人との交流がこのコレクションを生み出したと

▲十三代今右衛門作色銅鳥椿絵花瓶
▲赤絵椿の絵酒盃(荒川豊蔵作) 荒川豊蔵は、昭和30年志野、瀬戸黒により人間国宝、昭和46年文化勲章を受章した。この酒盃は、渡邊家の新築祝として贈られた。

いえます。特別展では、棟方志功や川端康成が渡邊氏に送った椿についての書簡、13代今泉今右衛門作の色銅鳥椿絵花瓶、稲垣稔次郎の浅葱地椿文着尺、椿油の壺や椿や小鳥の描かれたギヤマン徳利などの逸品を展示しています。特別展の会場は図書館研修室。月曜日は休館で、開館時間は午前10時から午後5時まで。入場は無料です。

▼紅白梅の帯止(宇野宗襲作) 宇野宗襲は、明治21年京都生まれの陶芸家。昭和27年辰砂、昭和32年青磁で無形文化財に選定された。渡邊氏とは、薬を通じて交友があった。



図書館開館十五周年記念 渡邊武コレクション

▲川端康成書簡(昭和46年5月2日) この手紙は、ノーベル賞作家川端康成が、婦人同伴で渡邊家を訪れ庭に咲き競っている椿の花を眺め、小枝を持ち帰った折の礼状。このつぎ長塚節の軸と自分の古歌一首の書も持参することを、約束された墨跡鮮やかな椿通信で、まさしく川端康成の「椿の書」である。

▼椿小鳥文長崎ギヤマン徳利 ギヤマンは、幕末に輸出入の門戸であった長崎で、大量に生産され江戸に持ち込まれた。紫、青、無色などがあるが、どれも吉祥文様が描かれている。



記念講演会「日本文化と椿」
迎春・吉祥・長寿・結縁・除厄・尚武の花木
日時 1月23日(日)午後2時～
場所 文化資料館研修室
講師 薬学博士 渡邊武氏

つばき(椿)の写生会
日時 1月15日(土)・29日(土)午後1時～4時
場所 文化資料館研修室
■対象 市内の小学生 ■その他 ○写生会に必要な画材の内、画用紙は図書館で用意します。絵の具などはご持参ください。○参加者には参加賞を贈ります。○提出作品は、後日図書館内に掲示し、入選作品には記念品を贈ります。

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181